

小さな恋の夏休み

Swing

Selection Officielle Festival de Berlin
 Un film de Tony Gatlif
 Oscar Cogg Lou Reck Tchavolo Schmitt Mandino Reinhardt Abdellatif Chaarani Fabienne Mai
 Scénario original et adaptation Tony Gatlif Directeur de la photographie Claude Garnier Son Régis Leroux
 Assisté de Arthur le Roux Montage Monique Dartonne Décors Denis Mercier Directeurs de production Nathalie Duran
 Laurent Dusothoit Musique Mandino Reinhardt Tchavolo Schmitt Abdellatif Chaarani & Tony Gatlif
 Une production Princea Films Avec la participation de Canal+ et du Centre National de la Cinématographie Avec le soutien de la Région Alsace
 Avec la participation de la Communauté Urbaine de Strasbourg & Progrès Films-Film Coogi-Rosebud Ventes Internationales: FFI
 Avec le soutien de l'association française des cinémas d'art et d'essai Ventes Internationales: Warner Music Japan an ad time warner comgany
 Bande originale disponible sur disques et cassettes Warner Music Japan an ad time warner comgany

監督: トニー・ガトリフ

出演: チャボロ・シュミット オスカー・コップ ルー・レッシュ マンティーン・ラインハルト

僕のスウィング

2002年/フランス/90分/カラー/シネマスコープ/ 興行部 / © PRINCES FILMS-2002
<http://www.my-swing.jp>

「ガッツォ・ディーロ」「ベンゴ」のトニー・ガトリフが描く、ひと夏の小さな恋の物語

ひと夏の小さな恋の物語『僕のスウィング』は、『ガッツォ・ディーロ』『ベンゴ』と失われつつあるロマ文化に関わる作品を撮り続けてきたトニー・ガトリフ監督の最新作である。子供から少女へと成長する直前のほんの一時に放たれる両性具有のような不思議な魅力を持つロマの娘スウィングとギターによって音楽への好奇心の扉を開き、と同時に新しい世界を全身で受け止めたくましく成長していく10才の少年マックス。トニー・ガトリフ監督は、シネマスコープの画面いっぱいに輝く2人のキラキラした小さな恋のとくめきを、ジャンゴ・ラインハルトが生んだ陽気な音楽“マヌーシュ・スウィング”にのせて瑞々しく描きだした。本作は2002年ベルリン国際映画祭パノラマ部門に出品された。

そばかす顔の少年マックスと黒い大きな瞳のスウィング

夏休みにストラスブルに住む裕福な祖母の家に預けられたマックスがジプシー・ギターに心を奪われたのは、ギターの名手ミラルドの演奏をはじめて耳にして以来のこと。ある日、ギターを買いにミラルドや仲間のマヌーシュが暮す地区に出かけたマックスに、彼のウォークマンと引き替えに粗悪な中古ギターを押しつけたのは黒い大きな瞳を持つ少年のような娘スウィングだった。ギターを習いに毎日のようにミラルドのトレーラーに通うマックスは、すぐに音楽に囲まれた陽気で自由なマヌーシュの世界に魅了されていく。さらにスウィングは、マックスの胸がドキドキ、ワクワクするようないたずらや冒険の世界に誘いこむ。誰も入れない秘密の川、ハリネズミの住む森、ギターを抱えて走った抜け道、蓄音機をのせてかっぱい漕いだ小さな舟、好きな人の夢を見るという黄色い花のおまじない、2人だけの秘密の合図。そして夏の終りとともに、小さな恋には、小さなさよならが訪れる…。

※マヌーシュ——フランス中部以北からベルギー、オランダなどに暮すロマ(ジプシー)の通称。



ジプシー音楽とマヌーシュ・ジャズの融合 “マヌーシュ・スウィング”

トニー・ガトリフの作品には、いつも魂を揺さぶるジプシーの音楽が流れている。『ガッツォ・ディーロ』ではルーマニア・バルカン音楽を、『ベンゴ』ではアンダルシア・フラメンコを、そして新作『僕のスウィング』ではジプシー音楽とスウィング・ジャズが融合されたマヌーシュ・スウィングを思いつき陽気に響かせる。“マヌーシュ・スウィング”は、あの世界的に有名なジャズ・ギタリストのジャンゴ・ラインハルトが生んだ音楽である。01年に公開されたウディ・アレン監督の『ギター弾きの恋』でジョン・ベンが演じた不器用な天才ジプシー・ギタリスト役は、ジャンゴ・ラインハルトがモデルとなっていたのが記憶に新しい。

ジャンゴ・ラインハルトの後継者 チャボロ・シュミットが心と耳で奏でるギターの音色

ミラルド役のチャボロ・シュミットの神業的なギターさばきを目にした瞬間、誰もがマヌーシュ・スウィングの虜になるだろう。当初、ガトリフ監督は、ジャンゴの息子、バビック・ラインハルトと一緒に企画をすすめていたが、バビックの死去により、ジャンゴの第一後継者であるチャボロ・シュミットに映画の出演を頼む。世界的に有名なギタリストでありながら、チャボロの生活は映画の中のミラルドと変わらない。チャボロは「私たちが演奏しているのは楽譜の音楽でなく、心と耳の音楽なのだ」と語る。ガトリフ監督は、生活すべての中から紡ぎだされるチャボロの音楽を忠実にスクリーンに反映し、マヌーシュ・スウィングの息吹を伝える。『僕のスウィング』が公開されたヨーロッパ各地では、チャボロ・シュミットのコンサートが行われ、マヌーシュ・スウィングが世界中で脚光を浴びている。

『僕のスウィング』2002年ベルリン国際映画祭《パノラマ》部門正式出品作品
監督:トニー・ガトリフ 出演:チャボロ・シュミット/オスカー・コップ/ルー・レッシュ/マンディーノ・ラインハルト
2002年/フランス/カラー/90分/サントラ盤:ワーナーミュージック・ジャパン/配給:日活
<http://www.my-swing.jp>

これで決まり。マヌーシュ・スウィング!!

オリジナルサウンドトラック
11/20発売
ワーナーミュージック・ジャパン
(WPCR-11384)

「Alors?...Voilà!」
12月上旬発売予定
メタ・カンパニー
(ERPCD-8957)

「Miri Familia」
12/21発売予定
オーマイトキ
(OMCX-1089)

音楽のスイング
Selection Officielle Festival de Berlin
Un film de Tony Gatlif
CINE LIBRE UMEIDA
CINE LIBRE KOBE

2003年陽春ロードショー!

特別鑑賞券¥1,500絶賛発売中! (当日:一般¥1,800/学生¥1,500/シニア¥1,000)

劇場窓口でお買い求めの方には、『僕のスウィング』特製ピンバッチをプレゼント!(限定数)

B.C STOCKにて2月22日より『僕のスウィング』オリジナル商品発売!(堀江店:06-4391-3391・神戸店:078-708-2501・京都店:075-253-0915)

※上映スケジュールは、各劇場までお問合せください。

梅田スカイビル(空中庭園)タワーエース3F
大丸東側 神戸朝日ビルB1F
シネ・リーブル梅田 シネ・リーブル神戸
CINE LIBRE UMEIDA CINE LIBRE KOBE
06(6440)5930 078(334)2126

www.nikkatsu.com

◆ 各 回 入 替 制 ◆